

2027年7月1日、劇場「星が丘プレイハウス」開業

～心おどる街をつくる。星が丘に、最大121席の新たな劇場が誕生～

東山遊園株式会社（所在地：名古屋市千種区、代表取締役社長：水野宏洋）は、2027年7月1日、星が丘ボウル跡地再開発プロジェクトにおいて新設される複合ビル6階に、劇場「星が丘プレイハウス」を開業いたします。本劇場の設立にあたっては、芸術監督に渡部将之氏、ブランドデザインに村瀬隆明氏を迎え、街づくり、演劇、デザイン、それぞれの領域で培ってきた知見を融合しながら、理念や世界観の構築を進めてまいりました。また、3名は東海高等学校の同級生として30年以上にわたる信頼関係を築いており、その絆を礎に本プロジェクトを推進しています。人と街、そして物語がにつながる新たな文化創造拠点「星が丘プレイハウス」の実現をめざします。



星が丘プレイハウス
Hoshigaoka Playhouse

ロゴの想い

劇場の中で生まれる心躍る場面と、東山の森を望むこの劇場空間。ロゴには、人と物語をつなぐ想いを込めました。星が丘の誇りとなる文化を、ここから育みます。



複合ビル外観イメージ

※6階に星が丘プレイハウスを開業予定です

星が丘プレイハウスロゴ

劇場理念「星が丘プレイハウス」がめざすもの

「星が丘プレイハウス」は、単なる公演の場ではなく、人と人、街と文化をつなぐ新たな文化拠点をめざします。以下の理念を根幹に据え、星が丘から未来へつながる劇場文化を育んでまいります。

ミッション：人と物語をつなぎ、星が丘の魅力と価値を高める

パワースポット

ビジョン：心が躍る“劇場”をつくる

バリュー：ひらく・つなぐ・誇る

ひらく — 表現者と観客に、新たな可能性をひらく

最大121席の劇場空間は、作品との距離が近い創造の場です。表現者の挑戦や成長を支え、観客には演劇との新たな出会いや感動を届けます。

つなぐ — 人と人、劇場と街をつなぐ

ホールとホワイエを起点に、多様な人々が集い、表現者と観客、劇場と街をつなぐ新たな交流を育みます。

誇る — 地域の誇りとなる文化を育む

東山動植物園の豊かな緑を望む開放的な劇場空間を生かし、訪れる人に特別な体験を提供します。星が丘への愛着や誇りを育む、新たな文化拠点をめざします。



複合ビル6階イメージ

星が丘に劇場をつくる、これまでの歩み

星が丘に文化が根付く場をつくりたい。その想いは、長い年月をかけて育まれてきました。2014年、旧知の渡部将之氏との取り組みをきっかけに、星が丘での演劇活動が始まりました。その後、街のさまざまな場所を舞台に公演を重ね、2017年には「星が丘フリンジ」へと発展。表現者と観客、そして街がつながる文化活動を育んできました。その歩みの先に誕生するのが「星が丘プレイハウス」です。街づくり、演劇、デザイン、それぞれ異なる領域で培ってきた経験と想いを結集し、人と物語、そして街がつながる新たな文化拠点の創出をめざします。

同級生3人がこの劇場に込める意志



水野 宏洋
(施主・劇場オーナー)

プロフィール

星が丘グループ代表
金融機関や百貨店系デベロッパーを経て、2019年より現職。
星が丘自動車学校、星が丘テラス等を運営。ボタニカルタウン構想を掲げ、地域価値の向上に取り組む。
次の夢はボウリング場の再興。

コメント

渡部氏と劇場構想を夢見てスタートした初回の円盤ライダー星が丘公演から12年。待ちに待った「劇場のある街」に辿り着きました。星が丘プレイハウスが地域に愛され、住宅地、商業地、緑地、文教地区が重なる星が丘に欠かせない存在となること、そして星が丘がさらに賑わいのある街になっていくことを楽しみにしています。

渡部 将之
(俳優・芸術監督)

プロフィール

演劇ユニット円盤ライダー代表
俳優・プロデューサーとして、出演舞台120本以上、プロデュース公演50本以上の実績を持つ。2006年に円盤ライダーを旗揚げし、2014年には水野宏洋とともに「星が丘フリンジ」を設立。名古屋の演劇文化の発展に取り組み、表現者の視点から劇場づくりを担う。

コメント

最大121席という規模は、演劇にとって大切な舞台のひとつです。演者と観客のエネルギーが最も濃密に交わるこの劇場で、次世代の才能が育っていくことを夢見ています。

村瀬 隆明
(クリエイティブディレクター)

プロフィール

株式会社ナニヲニ 代表取締役
企業ブランディングや地域活性化プロジェクトなど、領域を横断したビジネスデザインを手掛ける。2018年には星が丘グループのブランド構築を担当。本劇場では、理念の言語化からビジュアル開発まで、一貫したブランドデザインを担う。

コメント

劇場のビジョンは、『パワースポット』となることです。星が丘の自然と物語が響き合い、訪れた人が心を動かされ、新たな自分と出会う体験をデザインしました。

今後も本プロジェクトの最新情報を順次お知らせしてまいります。次回は2026年11月頃に、「星が丘プレイハウス」のこけら落としシリーズの詳細を発表予定です。引き続きご注目ください。

施設概要

施設名称: 星が丘プレイハウス
開業日: 2027年7月1日
座席数: 121席

所在地: 名古屋市千種区星が丘元町16-45(仮)
利用料金(税抜): 平日 5万円 / 土日祝 7万5千円(1日貸し原則)
公式サイト: <https://www.hoshigaoka-playhouse.com>

special thanks to Yoshimi Aratake

お問い合わせ

東山遊園株式会社

星が丘プレイハウス広報担当 古田／濱本

E-mail: playhouse@hoshigaoka.co.jp